令和5年度　新川みどり野高校　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	福祉	社会福祉基礎	1年	2	社会福祉基礎（実教出版）	社会福祉基礎学習ノート（実教出版） コミュニケーション技術と老化、認知症・障害の理解（日本医療企画）
学習の到達目標	・社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 ・社会福祉の展開に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとする。 ・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び，福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。					

学期	月	単元	学習内容	到達度目標（学習のねらい）
前期	4月	第1編　社会福祉の理念と意義	第1章　生活と福祉 ・少子高齢化と人口減少に向かう日本 ・産業と地域社会の変化 ・家族と働き方の変化 ・疾病構造の変化 ・人の一生と社会福祉 第2章　社会福祉の理念 ・現代の福祉理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・地域生活と社会福祉	・少子高齢化と人口減少の中での社会福祉が担う役割について考察できる。 ・都市と地方の格差、地域社会の変化を理解し、育児・介護に対する社会的支援のあり方について考察できる。 ・国民の疾病構造の変化や保健医療施策について理解し、今後の国民の健康づくりのあり方を考察できる。 ・ライフサイクルの変化、多様化について理解できる。 ・日本国憲法の意義について理解し、これからの福祉国家・福祉社会の形成に向けて及ぼす影響を考察できる。 ・社会福祉を支える諸原理を理解し、利用者本位の支援のあり方を考察できる。
	5月	第1編　社会福祉の理念と意義 第2編　社会福祉の歴史と次代の展望	第3章　人間の尊厳と新たな福祉社会の創造 ・人間としての尊厳 ・自立生活支援 ・新たな福祉社会の構築に向けて 第1章　諸外国における社会福祉 ・社会福祉の歴史 ・イギリスにおける社会福祉の発展 ・アメリカにおける社会福祉の発展 ・北欧の社会福祉 ・ヨーロッパ大陸諸国の社会保障 ・アジアの少子高齢化と社会福祉の課題	・社会福祉の形成には、共生社会づくりが必要であることを理解し、行政やボランティア活動が果たすべき役割を考察できる。 ・救貧から福祉までの歴史的変遷を理解し、担ってきた意義を考察できる。 ・ソーシャルワークの発展や社会保障法について理解し、担った意義を考察できる。 ・北欧諸国の福祉国家成立までの歩みについて理解できる。 ・社会保険制度の誕生等がわが国に及ぼした影響について考察できる。
	6月	第2編　社会福祉の歴史と次代の展望	第2章　日本における社会福祉 ・近代社会福祉の黎明期 ・社会事業の成立と発展 ・戦時厚生事業による福祉対策 ・戦後対策としての社会福祉の構築 ・高度経済成長期と社会保障・社会福祉の拡充 ・新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入 ・子ども・家庭支援のさらなる充実をめざして ・障害者福祉のさらなる充実をめざして ・次代に向けた新たな社会福祉の挑戦	・近代社会福祉における先覚者たちの取り組みが理解でき、それぞれが担った意義について考察できる。 ・地域福祉の取り組みが理解でき、現代にどのような影響を及ぼしているか考察できる。 ・福祉三法体制の成立過程を理解し、どのような方向付けが行われたのか考察できる。 ・社会福祉六法体制の成立過程、ゴールドプランの策定などについて理解し、今後の目指すべき社会福祉制度利用について考察できる。
	7月	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度	第1章　社会保障制度の意義と役割 ・社会保障制度の意義と役割 ・社会保障の各制度の概要 ・社会保障制度を推進する機関 第2章　子ども家庭福祉 ・少子化時代の子ども子育て支援 ・児童相談所と市町村の役割 ・子ども支援と保育 ・子どものすこやかな成長に向けて ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 ・社会的養護と児童虐待への対応 ・障害のある子どもへの支援 ・子どもの権利と子ども家庭福祉	・社会保障制度の意義、役割、範囲を理解し、社会保障給付の内訳に関する推移について考察できる。 ・地域社会の中で求められる社会福祉のあり方について考察できる。 ・わが国の行政体制に関して理解し、国民生活や地域社会にどう関わっているか考察できる。 ・児童福祉法について理解し、今後の子育て支援のあり方を考察できる。 ・障害のある子どもに対する支援体制について理解でき、課題にどう対処していくかを考察できる。 ・児童福祉に関する市町村と児童相談所における役割が理解でき、課題にどう対処していくべきか考察できる。 ・子どもの貧困等実態を理解し、今後の対応について考察できる。
	9月			
後期	10月	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度	第3章　障害者福祉 ・障害者福祉とは　・障害の社会モデルとICF ・障害者の現状と生活のしづらさ ・障害者福祉の理念　・障害者福祉を支える法制度 ・身体障害者の現状と支援　・知的障害者の現状と支援 ・精神障害者の現状と支援　・発達障害者の現状と支援 ・障害者総合支援法の現状と課題 ・障害者福祉の今後のあり方	・ノーマライゼーション思想や自立生活運動を理解し、障害者福祉の意義について考察できる。 ・身体障害者の日常生活や社会生活の中で直面する課題について考察できる。 ・障害者総合支援法が定める目的、障害者福祉サービスの体系や利用の手続きについて理解できる。 ・知的障害者の現状を理解し、今後のサービス提供の望ましいあり方を考察できる。 ・発達障害者に対する支援体制が理解できる。 ・精神障害者の社会参加の実現に向けた課題について考察できる。 ・障害者福祉のあり方について就労支援、スポーツ・文化活動から考察できる。
	11月		第4章　高齢者福祉と介護保険制度 ・日本が直面する人口構造の高齢化 ・高齢者の生きがいと健康づくりに向けて ・介護保険制度の誕生　・介護保険制度の見直し ・高齢者の在宅サービス（福祉系、医療系） ・地域密着型サービス　・介護保険施設 ・老人福祉施設と高齢者向け住宅 ・認知症ケアの充実に向けて ・高齢者福祉の将来 第5章　生活支援のための公的扶助 ・生活保護制度とは　・生活保護の種類と基準 ・生活保護の実施体制と近年の動向 ・生活困窮者自立支援法と生活福祉資金貸付制度	・少子高齢社会について理解し、わが国が抱える問題、方向性が考察できる。 ・高齢者の健康保持に向けた施策について理解できる。 ・介護保険制度の概要が理解できる。 ・介護保険制度改正の趣旨が理解でき、課題が考察できる。 ・介護保険施設、老人福祉施設について理解でき、望ましいケアのあり方を考察できる。 ・様々な社会資源について理解できる。 ・地域包括ケアシステムのあり方を考察できる。 ・生活保護制度が理解でき、その意義を考察できる。 ・生活保護の動向について考察できる。 ・生活困窮している人の現状が理解でき、自立支援のあり方を考察できる。
	12月		第6章　国民の生活を支える社会保険制度 ・日本の社会保険制度 ・医療保険制度 ・後期高齢者医療制度 ・公的年金制度の体系 ・公的年金の給付 ・雇用保険と労災保険	・社会保険制度の概要が理解でき、その意義を考察できる。 ・医療保険制度の概要が理解でき、その意義を考察できる。 ・高齢者医療制度や医療提供体制の仕組みが理解できる。 ・公的年金制度の体系、公的年金の給付について理解できる。 ・雇用保険、失業等への対応、制度がもつ意義を考察できる。
		第4編　人間関係とコミュニケーション	第1章　コミュニケーションの基礎 ・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの手段と方法 第2章　支援における人間関係の形成 ・傾聴・受容・共感の姿勢　・利用者理解と支援者の自己理解 第3章　社会福祉における支援活動の概要 ・個人に対する支援活動とその方法 ・グループや家族に対する支援活動とその方法 ・地域を基盤としたソーシャルワーク ・チームワークとリーダーシップ ・福祉・介護人材の養成とキャリア形成	・コミュニケーション活動が本来もつ意義や役割について考察できる。 ・情報技術を利用したコミュニケーションについて理解し、それらがもつ意義を考察できる。 ・傾聴、受容、共感の姿勢について理解し、意義を考察できる。 ・利用者理解と援助者の自己理解が、援助活動を進めて行く上でどのような意義をもつのか考察できる。 ・個別援助技術の原則、展開過程を理解し、実際の援助活動の中での意義を考察できる。 ・集団援助技術の方法について理解し、実際にどのような形で展開できるか考察できる。 ・地域援助技術の原則、展開過程を理解し、地域でどのように実践されているか考察できる。 ・専門職によるチームワーク、チームケアがどのような意義を持つか考察できる。
	1月	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第1章　多様な社会的支援制度 ・医療提供体制のしくみ ・特別支援教育の制度 ・特別支援教育の実際 ・司法と福祉の連携 ・権利擁護と成年後見制度 第2章　地域福祉の進展と地域の将来 ・つながりの再構築と社会福祉の役割 ・地域社会とボランティア　・非営利組織の活動 ・福祉のまちづくりと地域社会　・新時代に向けた社会福祉	・地域医療、特別支援教育について理解できる。 ・雇用形態の変化について理解でき、雇用支援や若者への自立支援のあり方を考察できる。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点を重視した新しい住宅・居住サポートのあり方を考察できる。 ・司法と福祉の連携のあり方について考察できる。 ・相互扶助から社会連帯を基本とした新しい地域社会づくりのあり方を考察できる。 ・新たな時代に向け社会福祉をどのように構築していくか考察できる。
	2月			